

# 九州教育学会

## 第69回大会プログラム

2017年11月25日(土)～26日(日)

会場：鹿児島大学 郡元キャンパス（共通教育棟及びALプラザ）

### 第1日目 11月25日(土)

- 9:00～9:30 受付開始 (鹿児島大学共通教育棟2号館1階212号教室前)
- 9:30～12:00 自由研究発表 (鹿児島大学共通教育棟2号館)
- 第1分科会…教育哲学…講義室212 第2分科会…比較教育(1)…講義室213  
第3分科会…教育方法(1)…講義室214 第4分科会…教育史…講義室215  
第5分科会…教育経営・行政(1)…講義室216  
第6分科会…教育社会学(1)…講義室217
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～13:50 総会 (共通教育棟4号館 2階 421号教室)
- 14:00～17:30 総合部会 (共通教育棟4号館 2階 421号教室)
- 18:00～20:00 懇親会 (教育学部アクティブラーニングプラザ 1階)

### 第2日目 11月26日(日)

- 9:00～9:30 受付開始 (鹿児島大学共通教育棟2号館1階212号教室前)
- 9:30～12:00 自由研究発表 (鹿児島大学共通教育棟2号館)
- 第7分科会…比較教育(2)…講義室212  
第8分科会…教育方法(2)…講義室213  
第9分科会…教育経営・行政(2)…講義室214  
第10分科会…教育社会学(2)…講義室215  
第11分科会…社会教育・生涯学習…講義室216
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～15:00 ラウンドテーブル (鹿児島大学共通教育棟2号館)
- I. 学校コンサルテーションによるOJT型管理職育成の施行  
—その可能性と課題—【講義室213】
- II. グローバリゼーションと教育 —子どもの規律と自立—【講義室214】
- III. 地域と子どもに根ざす教育実践・教育を考えるV  
(第8回九州教育実践事例研究会)【講義室215】

九州教育学会第69回大会準備委員会事務局

〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 鹿児島大学法文学部 金子満研究室内  
Email: kagoshimaeducon@gmail.com Tel: 099-285-7751 (金子満研究室)

## <大会参加者の皆様へ>

### 1. 受付

受付は、第1日(11月25日)、第2日(11月26日)ともに、午前9時から行います。場所は、鹿児島大学共通教育棟2号館1階212号教室前です。

### 2. 大会参加費、懇親会費

(1) 大会参加費は次の通りです。受付の際にお支払下さい。

一般会員・一般臨時会員 3,000円、学生会員・学生臨時会員 1,500円

(2) 懇親会費

4,000円

※ 懇親会に参加される方は、第1日目の午前9時30分までに、会費を添えて受付にてお申込みください。

### 3. 発表要領

(1) 自由研究発表時間

個人研究発表 25分(発表20分 質疑5分)、共同研究発表 50分(発表40分 質疑10分)

※ 発表者が1人の共同研究は、個人発表と同じ発表時間となりますのでご注意ください。

(2) 発表資料

発表資料は50部用意し、当日、発表部会スタッフにお渡しください。

### 4. 昼食

- ・ 大会1日目は、大学学内食堂がご利用できます(営業時間 8:00~20:00)。
- ・ 大会2日目は、大学生協食堂・売店がご利用できません。なお、大学近郊に食堂、コンビニ等がございます。各自で、事前に準備していただきますようお願いいたします。

### 5. 会場

(1) 自由研究発表・ラウンドテーブル

共通教育棟2号館1階で行います。

(2) 総会・総合部会

共通教育4号館 2階 421号教室で行います。

(3) 懇親会

教育学部アクティブラーニングプラザで行います。奮ってご参加ください。

(4) 会員控室

稲盛アカデミー1階講義室「A11」にご用意しています。ご利用ください。

### 6. 交通案内

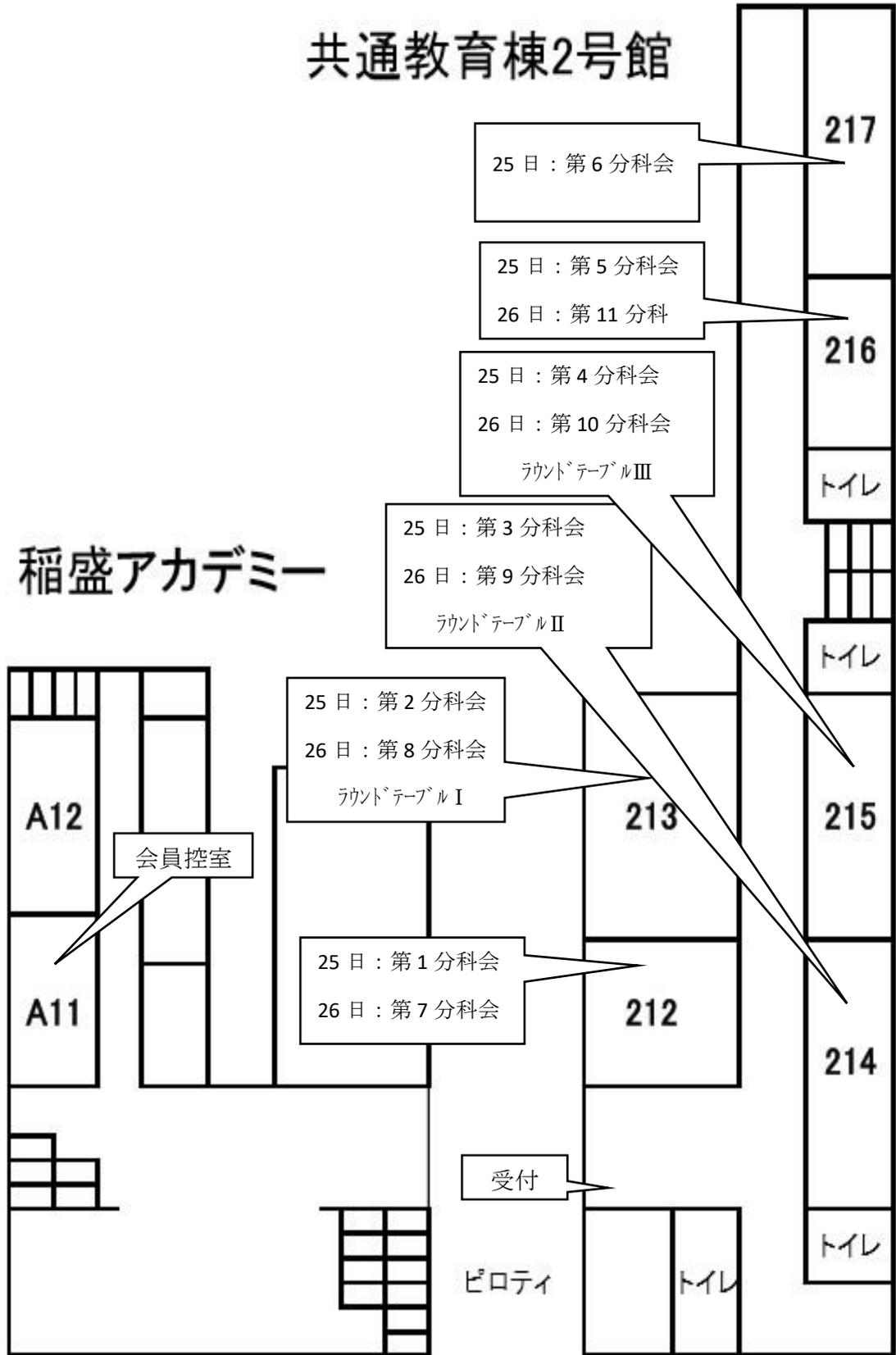
※ 詳細は、鹿児島大学HP (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>) をご覧ください。

※ 鹿児島大学の住所は、以下です。 〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24



# 会場案内図

(受付、会員控室および自由研究発表・ラウンドテーブル会場)



第1分科会 教育哲学 講義室【212】

司会 上菌 恒太郎(長崎総合科学大学)

①9:30-9:55

教育の分断と支援を要する子供達の学び

大村 由佳(山口大学大学院)

②9:55-10:20

日本の保育者の社会的地位に関する教育人類学的一研究 -保育者達の中にある児童中心主義思想の再検討-

大家 香子(大分県スクールカウンセラー)

③10:20-10:45

我が国における保育思想の変遷 -東京女子師範学校附属幼稚園設立までの幼児教育思想を中心として-

照屋 健(沖縄県南城市立馬天小学校)

④10:45-11:10

道徳と教育の方法論

洪山 昌雄(東筑紫短期大学)

<11:10-12:00 総括討論>

---

第2分科会 比較教育(1) 講義室【213】

司会 有松 しづよ(志学館大学)

①9:30-9:55

子どもの教育における家庭教育の強化 -インドネシアの政策動向と課題-

Cininta Aprina(チニタ アプリナ)(山口大学大学院)

②9:55-10:20

「優先教育地域政策」の効果について -韓国の「教育福祉優先支援事業」を中心に-

金 美連(九州大学大学院)

③10:20-10:45

バングラデシュの初等教育におけるSDGの実態に関する研究

ラフマン モクレスール(日本経済大学)

④10:45-11:10

「多文化共生都市・福岡」を実現するための国際理解の取り組み

岡田 憲二郎(福岡市立和白中学校)

⑤11:10-11:35

タイ北部国境地域「難民村」における華文学校の教育 -越境する教育の理念および歴史に関する一事例として-

○楠山 研(長崎大学) 森下 稔(東京海洋大学)

<11:35-12:00 総括討論>

---

第3分科会 教育方法(1) 講義室【214】

司会 橋迫 和幸(九州保健福祉大学)

①9:30-9:55

「児童」になるということをめぐる原理的考察

船原 将太(九州大学大学院)

②9:55-10:20

子どもから「引き出される価値」-「はしの上のおおかみ」を用いた Human Values-based Education の授業から-

井上 心(九州大学大学院)

③10:20-10:45

「主体的な学び」に重点を置いた小学校社会科の指導法開発 -小单元「明治の国づくりを進めた人々」の実践を通して-

喜入 貞信(鹿児島大学大学院)

④10：45-11:10

子どものノートにみる“書く力”と学力格差に関する事例的研究

森本 雅人(宜野湾市立志真志小学校)

⑤11：10-11：35

園歌・園章にみる幼児教育文化(7) -鹿児島県下の幼児教育施設を事例として-

大庭 茂美(九州女子短期大学名誉教授)

<11：35-12：00 総括討論>

---

#### 第4分科会 教育史 講義室【215】

司会 野々村 淑子(九州大学)

①9：30-9：55

近代における盲啞学校の経営と慈善演芸会 -九州北部地方を中心に-

菅 達也(長崎県立諫早特別支援学校)

②9：55-10：20

琉球大学設立時における管理運営モデルの導入過程

日永 龍彦(山梨大学)

③10：20-10：45

1920年代匯文女子中学校におけるアメリカ女性と中国女性の「交流」

武 瑛傑(九州大学大学院)

④10：45-11:10

ハインリヒ・ザールハーゲにおける第二次世界大戦下ドイツの学童疎開認識に関する考察 -学校  
田園寮運動との関係に焦点を当てて-

江頭 智宏(名古屋大学)

⑤11：10-11：35

戦時下における日本語教師の活動とその特色

竹本 英代(福岡教育大学)

<11：35-12：00 総括討論>

---

#### 第5分科会 教育経営・行政(1) 講義室【216】

司会 岩橋 法雄(第一工業大学)

①9：30-9：55

公立女子高校の存続要件に関する一考察

柴田 里彩(九州大学大学院)

②9：55-10：20

中国における学校管理職研修の制度化に関する考察 -1989-1999年における制度の形成要因に着目して-

殷 爽(いんそう)(九州大学大学院)

③10：20-10：45

コミュニケーションとしての協働教育実践 -福岡県A校区の事例から-

川畑 和久(大阪大学大学院)

④10：45-11:10

経済的要因と児童虐待との関連性考察 -要保護・準要保護児童数に着目して

波多江 俊介(熊本学園大学)

<11：10-12：00 総括討論>

第6分科会 教育社会学(1) 講義室【217】

司会 伊藤 友子(熊本学園大学)

①9：30-9：55

中国の専門職大学院における学生の進学動機と階層差に関する実証研究

王 佳(九州大学大学院)

②9：55-10：20

教員養成課程を履修していない高校教師の教育観 -高等学校看護科教員に対する調査からの一考察-

鶴田 百々(九州大学大学院)

③10：20-10：45

高校生の大学への進路選択に奨学金が与える効果に関する経済的分析

中島 弘和(福岡県立魁誠高校)

④10：45-11：10

教師が語るひとり親家庭

東野 充成(九州工業大学)

⑤11：10-11：35

中国都市部における家政サービス員のケアの知識と技術の習得 -上海市 R トレーニングセンターをフィールドにして-

翁 文静(九州大学)

<11：35-12：00 総括討論>

**【総合部会】**

会場：共通教育4号館 2階 421号教室

時間：14：00—17：30

**「未来の子育て環境としての学校・地域を考える」**

司会者：小柳正司（鹿児島大学）

岡幸江（九州大学）

登壇者：苫野一徳（熊本大学）

赤崎公彦（母間小学校教諭）

原田靖（鹿屋市吾平振興会館館長）

本来、子どもたちは様々な他者・事物・自然と深くかかわりあうなかで自己を形成してきた。しかし、近年、グローバル化の進展に伴う激しい国際環境の変化や、国内における高齢者人口の増加と生産年齢人口の急激な減少と共に、学校の抱える課題の複雑化・多様化、地域社会のつながり・支え合いの希薄化、家庭の孤立化が進むなど、こどもの自己形成を支えてきた諸空間の分節化・衰退化が大きな社会問題となっている。特に、こどもの成長の場として大きな役割を果たしてきた地域共同体の崩壊は、不可逆的な様相を呈しており、一方、右肩上がりの人口増加や社会発展モデルを元に整備されてきた戦後の学校教育もまた様々な教育病理を解決できずに機能不全を起こしている。

私たちは、こうした日本社会の大きな構造転換という激動期における子育て環境に対し、現在の学校そして地域はどのような役割を果たすことができるかが改めて問われなければならない。まさに未来における子育て環境として学校・地域の存在意義を根本から問い直す必要性に迫られているといえる。

今回の総合部会では、教育哲学の視点から近年の教育改革動向を踏まえた子育て環境として学校や地域の存在意義を問い直す作業を苫野氏に、こどもの自己形成空間の分節化・衰退化に対し、ICTを活用した教育実践を積極的な活用している徳之島の実践を赤崎氏に、伝統芸能の復活によるコミュニティ再生の取り組みと小・中学校のコミュニティースクールをリンクさせ子育て環境を豊かに形成しようとする実践を原田氏から提示していただき、様々な視点から総合的に議論を進めていきたい。

**第7分科会 比較教育(2) 講義室【212】**

司会 神崎 明坤(西南女学院大学)

①9：30-9：55

スウェーデンにおける父性の実態に関する研究-ストックホルムの父親を事例として  
TAN TINGTING(タン ティンティン)(九州大学大学院)

②9：55-10：20

オランダの補償教育(VVE)プログラムが就学前教育に与える影響に関する研究  
福田 紗耶香(九州大学大学院)

③10：20-10：45

アイルランドの国民教育制度成立に関するイギリスのグレー内閣の見解-主として、アイルランド担当首席秘書官E・スタンリの考えを通して-

和田 英武(熊本市医師会看護専門学校)

④10：45-11：10

イギリスの初等・中等学校における授業の自己評価基準作成過程に関する考察  
坂本 真由美(中村学園大学)

⑤11：10-11：35

フランスにおける地域教育政策の展開とその特質  
岩橋 恵子(志学館大学)

<11：35-12：00 総括討論>

---

**第8分科会 教育方法(2) 講義室【213】**

司会 三村 和則(沖縄国際大学)

①9：30-9：55

教職課程履修者の大学進学要求の検討-教職課程初年次履修者へのインタビュー及びアンケート調査から-  
渡邊 晶帆(福岡大学大学院)

②9：55-10：20

特別支援学校の初任教師が抱える困難さについての一考察  
立石 力斗(福岡教育大学大学院)

③10：20-10：45

「学び」を軸とした授業研究の批判的検討-教育実践の「不透明性」を導きとして-  
茂見 剛(九州大学大学院)

④10：45-11：10

中学校数学科教員の授業内における発話傾向についての考察  
江口 賢一(佐賀県多久市立東原産舎西溪校)

⑤11：10-11：35

中学校における短歌指導の在り方に関する研究  
桜川 冴子(福岡女学院大学)

<11：35-12：00 総括討論>

---

**第9分科会 教育経営・行政(2) 講義室【214】**

司会 児玉 弥生(北九州市立大学)

①9：30-9：55

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールにおける教育課程改善および外部機関との連携・協力  
福岡 哲朗(高校・大学インターンシップ研究会)

②9：55-10：20

中国における「学びの共同体」の導入と展開に関する研究  
高 暁宇(こう ぎょうう)(九州大学大学院)

③10：20-10：45

自律的高等教育システムにおける調整枠組みはなぜ放棄されたのか-カリフォルニア中等後教育  
コミッション(CPEC)の廃止経緯-

中世古 貴彦(九州大学大学院)

④10：45-11:10

1990年代以降のアメリカ・スクールリーダー教育における大学院プログラムの変遷に関する  
考察

大竹 晋吾(福岡教育大学)

<11：10-12：00 総括討論>

---

第10分科会 教育社会学(2) 講義室【215】

司会 神田 嘉延(鹿児島大学)

①9：30-9：55

SOGIの多様性を踏まえた学校教育の構築-福岡県X市における取り組みを例に-

眞野 豊(九州大学大学院)

②9：55-10：20

外国人児童に対する日本語指導の現状-日本語教室と授業通訳補助という教育実践の比較から-

趙 樹娟(ちょう じゅけん)(山口大学大学院)

③10：20-10：45

商業教育における地域協働と社会的評価に関する研究-観光社会学の視点を中心にして(4)-

清川 康雄(鹿児島県立蒲生高等学校)

④10：45-11:10

私立在外校の存続構造-スイスK校とイギリスR校の比較-

白石 義郎(久留米大学)

<11：10-12：00 総括討論>

---

第11分科会 社会教育・生涯学習 講義室【216】

司会 相戸 晴子(宮崎国際大学)

①9：30-9：55

対話を通じた政治的主体としての形成に関する研究-千代夜間中学校よみかき教室における学習  
活動を通して-

溝内 亮佑(九州大学大学院)

②9：55-10：20

身体表現の実践を通じた異なる身体の接続-身体に障害がある人々による演劇制作の現場に着目  
して-

宮本 聡(九州大学学術協力研究員)

③10：20-10：45

若年女性の貧困問題にたいする教育学における議論の動向と課題

白谷 美紗樹(福岡大学大学院)

④10：45-11:10

戦前期福岡県における同和教育について-田川郡の水平社運動と融和運動の相剋-

竹永 茂美(公益社団法人 福岡県人権研究所)

<11：10-12：00 総括討論>

ラウンドテーブル：2日目（11月26日 日曜日）

【ラウンドテーブルⅠ】講義室 213 13:00-15:00

学校コンサルテーションによるOJT型管理職育成の施行 —その可能性と課題—

- 企画者 元兼正浩（九州大学）
- 話題提供者 鄭修娟 九州大学大学院人間環境学府（博士後期課程）
- 申芸花 九州大学大学院人間環境学府（博士後期課程）
- 殷爽 九州大学大学院人間環境学府（博士後期課程）
- 原北祥悟 九州大学大学院人間環境学府（博士後期課程）
- 木下寛子 九州大学大学院人間環境学研究院（学術研究員）

本ラウンドテーブルは、文部科学省の受託研究として企画者らが現在進めている「学校コンサルテーションによるOJT型管理職育成の試行」事業の中でも、特に学校コンサルテーションに焦点を当て、その理論的、実践的な可能性と課題について議論を深めたい。教育経営学領域における臨床的アプローチの一つとして学校コンサルテーションは位置づくが、「学校相談」が盛んな韓国などと比べその理論的考察は深まっていない。そこで隣国の学校経営コンサルティングの理論的・実践的課題を確認したうえで、プロセス・コンサルテーション（E.H.シャイン）等を進めていく上での理論的な課題の整理、さらに九州大学が取り組んでいる管理職としての資質力量を向上させるOJT型の新たな管理職育成プログラムとしての学校コンサルテーションについて、その有効性と課題を協議したい。

---

【ラウンドテーブルⅡ】講義室214 13:00-15:00

グローバリゼーションと教育 —子どもの規律と自律—

- 企画者 吉本圭一（九州大学）
- 話題提供者 圓入智仁（中村学園大学）
- 白坂正太（九州大学）

教育現場で生じている様々なグローバリゼーションは、制度・政策等による社会構造や文化的な背景によって、どのような違いが生じるのであろうか。本ラウンドテーブルでは、特にノンフォーマル教育の具体的事例に着目することで、「子どもの規律と自律」の関係性に着目することで、教育とグローバリゼーションについて考える。

ラウンドテーブル：2日目（11月26日 日曜日）

【ラウンドテーブルⅢ】講義室 215 13:00-15:00

地域と子どもに根ざす教育実践・研究を考えるⅤ（第8回九州教育実践事例研究会）

- 企画者 田上哲（九州大学）  
□話題提供者 中島賢太郎（鹿児島市谷山小学校）  
古庄清宏（私立都城東高等学校）

九州教育学会の開催県およびその近隣地域で、個人やサークルで自発的・自主的に、また学校や機関の中で主体的に教育実践・実践研究に取り組んでいる教師と、教育実践研究に取り組んでいる研究者が集い、地域に根ざす教育実践・研究、子どもに根ざす教育実践・研究について検討しようとするものである。

---